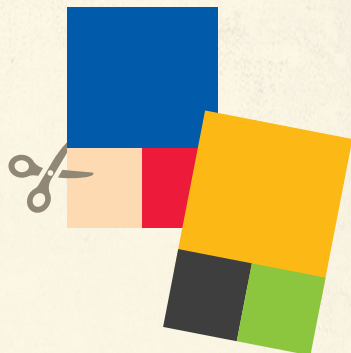




切り紙絵をつくろう!

マティスのように、切り紙絵をつくってみよう。

このジュニア・パスポートに付いている色紙を、はさみで好きなかたちに切って、台紙となる紙(色紙の中から選んでも、自分で用意した紙でもいいよ!)にのりでは貼って、自分の作品をつくってみてね。



作品の題名:

ピカソとその時代 ベルリン国立ベルクグリューン美術館展

会期:2022年10月8日(土)ー 2023年1月22日(日)

会場:国立西洋美術館

主催:国立西洋美術館、ベルリン国立ベルクグリューン美術館、東京新聞、TBS、共同通信社

開館時間:午前9時30分～午後5時30分(金・土曜日は午後8時まで。)※入館は閉館の30分前まで

休館日:月曜日、10月11日(火)、12月30日(金)～2023年1月1日(日)、1月10日(火)

※ただし、10月10日(月・祝)、2023年1月2日(月・休)、1月9日(月・祝)は開館

表紙の絵

(左)バプロピカソ 《黄色のセーター》

1939年 油彩、カンヴァス 81 x 65 cm ベルリン国立ベルクグリューン美術館

© Museum Berggruen – Nationalgalerie, SMB / bpk / Roman März © 2022 – Succession Pablo Picasso – BCF(JAPAN)

(中央)バウル・クレー 《黄色い家の上に咲く天の花(選ばれた家)》

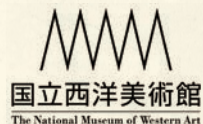
1917年 水彩・グアッシュ、地塗りをした亜麻布、厚紙に貼り付け、水彩による線取り 23 x 15 cm ベルリン国立ベルクグリューン美術館

© Museum Berggruen – Nationalgalerie, SMB / bpk / Jens Ziehe

(右)アンリ・マティス 《雑誌「ヴェルヴ」第4巻13号の表紙図案》

1943年 切り紙、カンヴァスに貼り付け 38.1 x 56.8 cm ベルリン国立ベルクグリューン美術館、ベルクグリューン家より

寄託 © Private Collection, on loan to Museum Berggruen – Nationalgalerie, Staatliche Museen zu Berlin / bpk / Jens Ziehe



このジュニア・パスポートは、小学校高学年から中学生を対象に作られています。それより小さいみなさんは、大人のひとといっしょに使ってみてね。

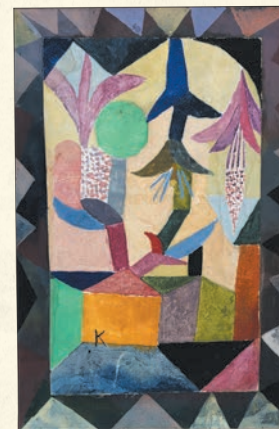
名前

日付

年

月

日



ドイツにあるベルリン国立ベルクグリューン美術館には、20世紀に活躍した

芸術家の作品が数多くあります。この展覧会では、ベルクグリューン美術

館から、そうした巨匠の一人であるピカソを中心とした芸術家たちの作品を、約

100点借りて、そこに日本の国立美術館が所蔵する作品も加えて、展示しています。

このジュニア・パスポートを使って、展覧会を楽しんでください!

ベルクグリューンとそのコレクションについて

み なさんは、何かお気に入りのものを集めたことはありますか？

ドイツ生まれのハインツ・ベルクグリューンは、フランスで画商(絵の売買を仕事にする人)として働きながら、自分でも気に入った美術作品を収集して、すぐれたコレクションを築き上げました。特に、尊敬するピカソ、マティス、クレー、ジャコメッティといった、ベルクグリューンが生きた時代に

活躍していた4人の芸術家の作品を中心に集めました。そしてくり返し、作品を買入れたり手放したりして、自分の目で見分けながら、よい作品を選び抜きました。

彼のコレクションは、1996年から、生まれ故郷のベルリンにある建物の中で公開され、2004年に、そこはベルリン国立ベルクグリューン美術館という名前になりました。

ベルクグリューン氏



ハインツ・ベルクグリューン
© Heinz Berggruen Collection, Photo: Mary Ellen von Schacky-Schultz.

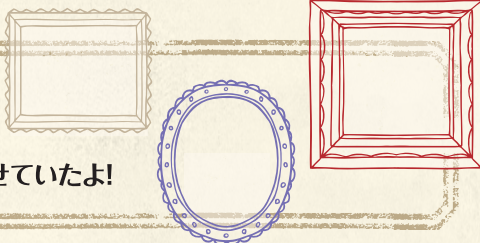
ベルリン国立ベルクグリューン美術館



ベルクグリューン美術館 Courtesy of Museum Berggruen

額にも注目!

ベルクグリューンは、絵に合わせて、額縁も自分で選んで組み合わせていたよ!



会場でやってみよう!



ベルクグリューンはピカソを深く尊敬し、実際にピカソと交流しながら作品を収集していました。この展覧会にも、ピカソの作品が数多く展示されています(そのうち35点は日本初公開です!)

パブロ・ピカソ 《緑色のマニキュアをつけたドラ・マール》1936年
油彩、カンヴァス 65 x 54 cm ベルリン国立ベルクグリューン美術館 © Museum Berggruen - Nationalgalerie, SMB / bpk / Jens Ziehe © 2022 - Succession Pablo Picasso - BCF(JAPAN)



下の問いに答えながら、会場で、ピカソが描いた作品の中からとっておきの一枚を選んでみよう! それぞれの作品をよく見て、選んだ理由も考えてみてね。

1. ピカソの作品を一枚もらえるとしたら?

作品名:

その絵をどこに飾りたい?

2. 家族や友だちにプレゼントするのなら? (だれに贈るかも考えてみてね!)

だれに?

作品名:

美術館でのマナー



さわらない
作品は大切にしましょう。



走らない
作品や人にぶつくと危険です。



エンピツを使いましょう
作品をインクで汚さないように。



さわがない
静かな声で話しましょう。

この色紙は最後のページで使います



家でやってみよう!



この絵をよく見てください。

思い浮かんだ言葉や聞こえてきそうな音などを、下の枠の中に書いてみよう。
擬音語(「ほわほわ」など)でもいいよ!



絵の題名は「子どもの遊び」。動きのある黒い太線と赤や黄色のいろいろなかたちを組み合わせることで、遊ぶ子どもが表現されています。子どもはどこで遊んでいるのかな? 何をしているところだと思う?



自分が感じたことや考えたことをもとに、この絵から物語をつくってみよう!

あなたの物語:



この絵を描いたクレーは、描く材料や描き方にも工夫をこらしていました。ここでは、特別な^まのりを混ぜた絵の具(のり絵の具)と水彩絵の具と一緒に使

って描きました。病気をわずらっていたクレーは、亡くなる一年ほど前にこの作品を制作しました。



アンリ・マティス 《ドラゴン》1943-44年 切り紙 42.5 x 65.5 cm ベルリン国立ベルクグリュン美術館、ベルクグリュン家より寄託
© Private Collection, on loan to Museum Berggruen - Nationalgalerie, Staatliche Museen zu Berlin / bpk / Jens Ziehe



画面いっぱいに、いろいろな色の模様が表現されています。

この絵の題名は「ドラゴン」。どんなところがドラゴン(竜)に見える?

この作品は、どんな道具と材料でつくられたと思う? 作品をよく見てみよう。



作者のマティスは、年をとってから、色を塗った紙をハサミで好きなかたちに切って、それらを別の紙の上に貼り付ける、「切り紙絵」をつくりました。マティスはハサミで絵を描いたのです! 切り紙絵で表された色は、筆で描く絵の具の色とは

ちがう感じになります。マティスはしばしば自分の記憶や想像をもとにして、切り紙絵を制作しました。このドラゴンも、もしかすると、マティスが何かを思い出して表現したのかもしれない。

